販売店様用資料

ペダリングモニターセンサーSGY-PM900H90用

販売店様での取付作業マニュアル

マグネットリングの取り付け

ボトムブラケット（BB）の左右にマグネットリングを取り付けます。
お使いのBB により、取り付け方法が異なります。

HOLLOWTECH II の場合（SM-BB7900 / SM-BB6700）

本製品に付属のマグネットリングアタッチメントを使用します。BBがSM-BB9000の場合は、アタッチメントに同梱されている「SM-BB9000用マグネットリング取付説明書」をご参照ください。

1 BB の周辺を清掃し、BB が固定されていることを確認します。
BB が固定されていないと、けがや部品の破損の原因となることがあります。
BB が汚れている場合は、ウエスで拭き取るなどして清掃してください。

2 マグネットリング内側の透明の剥離紙をはがします。

3 マグネットリングのつめ（3 か所）をアタッチメントの凹みに合わせ、パチッと音がするまで強く押しつけてはめ込みます。

マグネットリングのつめが折れないように注意してください。またマグネットリングのつめの幅に対して、アタッチメント側の凹みの幅が広くなっており、回転方向にガタツキますので位置合わせは、凹みの中央につめがくるように合わせて下さい。

4 自転車を水平な場所に設置し、ローラー台に固定します。
前輪と後輪の高さが同じになるように前輪の高さを調整します。

5 マグネットリングに水準器を貼り付けます。
水準器の長辺が、右側は“R”、左側は“L”のマーカーに重なるように、水準器用両面テープを使用して貼り付けます。

6 マグネットリングの表面（マーカーのある面）とBB の面が一致する位置まで押し込みます。
水準器を使用して、気泡が中央にくるようにマグネットリングを回転して調整します。

7 六角レンチ（2mm）を使用して、ネジ（3 つ）を均等に締め付けて固定します。
ネジを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。
•締め付けトルク：1.0 N•m

BB にネジの締め付けあとがつきます。ご了承ください。

8 水準器、両面テープを取り外します。

BB86/BB30/PF30 の場合

オプションの専用BB（別売）にマグネットリングを取り付けます。

1　既存のBB86/BB30/PF30 が取り付けられている場合は、取り外します。
取り外し方法は、お使いのBB の取扱説明書をご覧ください。

2　オプションの専用BB を圧入し、BB のマグネットリング取り付け面を清掃します。
圧入方法は、お使いの専用BB の取扱説明書をご覧ください。

3　自転車を水平な場所に設置し、ローラー台に固定します。
前輪と後輪の高さが同じになるように前輪の高さを調整します。

4　マグネットリングに水準器を貼り付けます。
水準器の長辺が、右側は“R”、左側は“L”のマーカーに重なるように、水準器用両面テープを使用して貼り付けます。

5　マグネットリング内側の透明の剥離紙をはがします。
詳しくは、30 ページの手順2 をご覧ください。

6　マグネットリングの位置を調整し、マグネットリングをBB にはめ込みます。
水準器を使用して、気泡が中央にくるようにマグネットリングを回転して調整します。
パチッと音がするまで、マグネットリングを強く押しつけます。

• マグネットリングのつめが折れないように注意してください。
• 取り付ける前に、マグネットリングの位置をよく確認してください。マグネットリングをBB に取り付けてから回転することはできません。

7　水準器、両面テープを取り外します。

クランクセットの取り付け

自転車にクランクセットを取り付けます。
クランクセットの取り付け方法については、お使いのクランクセットの取扱説明書をご覧ください。

マグネットリングの動作確認

マグネットリングが正常に動作していることを確認します。

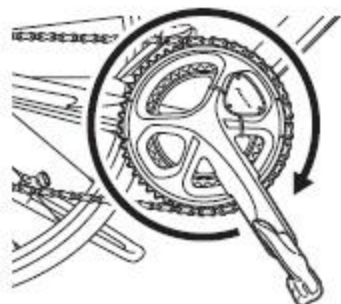
1　センサーの送信機のカバーを外して、クランクを回転します。
およそ1 秒間に1 回転の速度でクランクを3 回転させたあと、LED が見やすい場所でクランクを止めてLED が緑色に点灯していることを確認します。クランクの回転中および1 回転ごとに、LED が約3 秒間点灯します。マグネットリングの動作確認は、電池を入れてから約2 分間行うことができます。

2　送信機のカバーを取り付けてネジで固定します。
ネジを締め付けるときは、トルク測定工具を使用してください。
・締め付けトルク : 18 cN•m

サイクルコンピューターとの接続

自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーをサイクルコンピューターSGXCA900に接続します。

本製品を他社のサイクルコンピュー ターと使用する場合は、接続の方法が異なります。 お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

1　SGX-CA900 のホーム画面で[センサー]のアイコンをタップするセンサーリスト画面が表示されます。
2　自転車のクランクセットを1 回転して、送信機を起動します。

送信機を起動してから5 分以内にサイクルコンピューターとの接続を行ってください。

3　SGX-CA900 のセンサーリスト画面にて。
［新規接続］をタップするとセンサー接続メニューが表示されます。
4　［デバイスタイプ］－［ペダリング モニターR］の順にタップします。

・左送信機の場合は[ペダリングモニターL]をタップします。
・複数のセンサーが起動している場合は、接続したいセンサーに本機を近づけるか、
デバイス番号を指定して接続を行ってください。
デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューター
SGX-CA900 の「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。

5　［検索］をタップします。
センサーの検索がはじまります。[検索中　しばらくお待ちください]というメッセージが表示されます。

6 センサーの情報を確認する。
センサーが見つかると、センサーの情報が表示されます。次の項目を確認します。
•[デバイス番号]
デバイス番号が送信機のデバイス番号と同じであることを確認します。
•[エラー率]
「OK」と表示されていることを確認します。

• 送信機のデバイス番号については、取付・取扱説明書（WEB 編）をご覧ください。
•[デバイス番号]に表示された番号が送信機のデバイス番号と異なる場合は、デバイス番号を指定して接続を行ってください。デバイス番号を指定して接続する方法については、サイクルコンピューターSGX-CA900 の「ユーザーズガイド（WEB 編）」をご覧ください。
•[エラー率]に「NG」と表示されている場合は、通信状態が悪化しているため、センサー情報が正しく受信されていません。接続するセンサーが起動していることを確認してから、センサーにSGX-CA900 を近づけ、再度接続操作を行ってください。
• 2.4GHz 帯電波の影響で接続できない場合があります。センサーにSGXCA900を近づけて接続をしても「NG」が表示される場合は、Wi-Fi などの無線LAN 機器、電子レンジなどから十分離れたところで再度接続操作を行ってください。

以上で右送信機の接続は終了です続けて左送信機の接続を行ってください

校正の準備

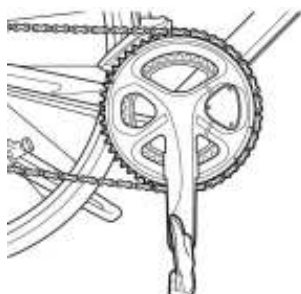
正確な校正を行うため、左側のクランクアームに負荷をかけ、本製品とクランクの結合部分をなじませます。

この作業は左側のクランクアームのみ必要です。また、パワーメーターモードで使用する場合も、校正の前にはこの作業を行ってください。

1 自転車をローラー台などの安全なスタンドに固定します。
2 左クランクアームを前方に向け、クランクアームが地面に対して水平になるようにリアホイールを回転します。
3 リアブレーキでリアホイールをロックし、左ペダルに足を載せて、約5 秒間体重をかけます。
このとき、右のペダルには足を載せないでください。
※右クランクについては上記作業は不要です。

センサーの校正

サイクルコンピューターSGX-CA900 を使って、自転車に取り付けたペダリングモニターセンサーのゼロ点校正を行います。

•ここでは右側のペダリングモニターセンサーを例に説明します。左側の校正方法は右側と同様です。
• パワーメーターモードの校正方法は、お使いのサイクルコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ゼロ点の校正

1 **クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止めます。**

2 **SGX-CA900 のホーム画面で[センサー]のアイコンをタップします。**
センサーリスト画面が表示されます。

3 **[ペダリングモニターR]－[校正（ゼロ点）]の順にタップします。**

4 **[校正スタート]をタップします。**
校正がはじまります。校正に成功すると、[結果]欄に「成功」と表示されます。
「失敗」と表示された場合は、クランクが動くなど安定しない状態で校正が行われた可能性があります。クランクを静止させた状態で再度校正を行ってください。

ゼロ点の確認

1 **クランクアームを地面に対して垂直になる位置で止めます。**

2 **SGX-CA900 のセンサーリスト画面で[ペダリングモニターR]をタップします。**

3 **[フォースプレビュー]の値を確認します。**
[接線方向フォース]と[法線方向フォース]が次の値であることを確認します。
• 接線方向フォース：0± 3N
• 法線方向フォース：0± 3N

以上で右側の校正は終了です。同様に左側の校正を行ってください。

本機は学習機能によって、温度（気温）の変化に応じて自動的にゼロ点を補正します。この学習機能は何度かゼロ点校正(キャリブレーション）を行うことで温度変化に対する安定性が向上します。ワークアウトする前にフォースプレビューを確認し、必要に応じてゼロ点校正を行ってください。

チェーンリングボルトの増し締め

ペダリングモニターセンサーの取付を行う際、チェーンリングボルトを外して作業を行っております。ボルトの取付についてはメーカー指定トルクにて締めておりますが、クランク取付前に必ず増し締めして頂きますようお願いいたします。また定期的な点検、増し締めをユーザー様へお伝えください。クランクには下記シールを添付してご返却しております。

自転車店様へのお願い

チェーンリングボルトは
クランク取付け前に
必ず増し締めしてください。
また、定期的な点検、増し締めを
行ってください。

対応部品

■クランクセット
本製品は、次のクランクセットに対応しています。

クランクセット	備考
SHIMANO FC-9000	165 / 167.5 / 170 / 172.5 / 175 mm のクランク長、50-34T/52-36T/ 52-38T/ 53-39T のクランクセットに対応。※

※ 本書では、クランク長170 mm のクランクセットを例に説明しています。

■ボトムブラケット（BB）
本製品は、次のBB に対応しています。

BB	製品名称	備考
HOLLOWTECH II、JIS68	SHIMANO SM-BB7900 SM-BB6700 ※	マグネットリングアタッチメントを使用。

下記のBB をお使いの場合は、取り付けに専用オプションパーツ（別売）が必要です。

BB	製品名称	備考
BB86	Pioneer SGY-BB86 SGY-BB86C	オプションパーツ（別売）マグネットリングを直接取り付け。
BB30	Pioneer SGY-BB30 SGY-BB30C	
PF30	Pioneer SGY-BBPF30 SGY-BBPF30C	

本製品の取り付け、接続、および校正は専門技術、専用工具を必要とします。取り付け、接続、および校正を行う際は、必ず本製品の取扱店舗にご依頼ください。本製品の取り付けにより、クランクセットおよびボトムブラケットに傷がつきます。ご了承ください。

付属品【SGY-PM900H90用】

本製品は取付センターで取り付けた後、使用しなかった付属品を商品の個装箱に入れてお返しております。チェーンリングを交換した際などにご利用下さい。

■中継ケーブルガイド

インナーチェーンリングのサイズによって、使用する中継ケーブルガイドと、中継ケーブルガイドを固定する際のネジ穴の位置が異なります。
取り付け完了後、サイズが異なる中継ガイドは予備となります。
（いづれかを取り付けに使用する為、2個が予備となります）

中継ケーブルガイド× 3

■マグネットリング

BBがSM-BB7900、SM-BB6700でない場合は、本マグネットリングアタッチメントは使用しません。
（BBがSM-BB9000の場合は、SM-BB9000用マグネットリングアタッチメントを使用します。別紙の「SM-BB9000用マグネットリング取付説明書」を参照ください）

HOLLOWTECH II 用
マグネットリングアタッチメント× 2

■結束バンド

取付けに使用した後の余り品は予備となります。バンドが切れた場合などにご利用ください。(2本使用し18本が予備となります)

結束バンド× 20

■プラスネジ

取付けに使用した後の余り品は予備となります。
（2本を使用し8本が予備となります）